



平成27年 2月15日

2/3面 特集 研究集会アンケート結果
資料館特別企画展 俳人大島蓼太
健康を考える集会
みんなで仲良く
青年の家だより
スポーツ・情報
館報コンクール入賞
こどもの詩・俳句・短歌
蓮田市中央公民館リニューアルオ
ープン記念イベント・ペンペン草



「果樹剪定」

品質の向上と豊作を願って枝を整える。
果樹栽培百年ということで、今年一年は果樹栽培風景をお届けします。

くだもの町松川町は、果樹栽培が始まって今年で、100年目を迎えました。
この記念すべき年を、町中で盛り上げようと、町を始め記念事業準備委員会により、さまざまな計画が進められております。大正4年(1915年)に鈴木源三郎さん、平澤兼四郎さん、矢沢菊太さんの3名によって、果樹栽培が始められ、松川町の一大基幹作物として全国に誇る、くだもの町として現在に至っております。
ここに至るまでには、先輩の方々が、長い道程を幾多の困難を乗り越え、試行錯誤を繰り返しながら、農協を中心とした御指導のもと、果樹振興同志会や、生産者を中心とした組織や、グループも生まれ、お互いが切磋琢磨し、栽培技術を磨きながら、おいしい、品質の良いくだもの作りに励み、全国に誇るくだもの町へと、発展してまいりました。

主張

次の100年に向かって

海外からも観光客を

方面からみえるお客様に必ず言われます。
このことは、くだもの栽培者にとっては、一番の励みでもあり、強みでもあります。
しかし、今後もくだもの町松川町として、さらに発展し続けて行くには、容易な事ではありません。
味の良さ、より品質の向上をめざす事は勿論ですが、次世代に向け、今まで培って来た栽培技術を、継承して行く事も、大切ですし、そして、松川町を訪れた皆さんが、なんて松川町っていい所なんだと、好印象を持ち帰っていただける事が、大切だと思います。
昨年、日本を訪れた海外からの旅行者は、1、341万人といわれ、東京オリンピックが開催される20年までには、2、000万人を、目標にしております。
今は、海外から日本を訪れる人達は、大都市や、有名な観光地に集中しており、現在町でも力を入れて、首都圏への一層の情報発信と、PR活動により、リニア開通後も見据え、国内はもとより、海外からの観光客を、いかに地方ポイントになると、思います。
町内の農園には、歴史を物語る、りっぱなりんごの樹、なしの樹の大きさが、堂々と今も現役で、次の100年に向かって、くだもの町、松川町の発展を願いながら!! 頑張ってくれ!! と語り続けております。
くだもの観光協会
会長 湯澤 徳晴

「将来」

第52回松川町 公民館研究集会 アンケートより

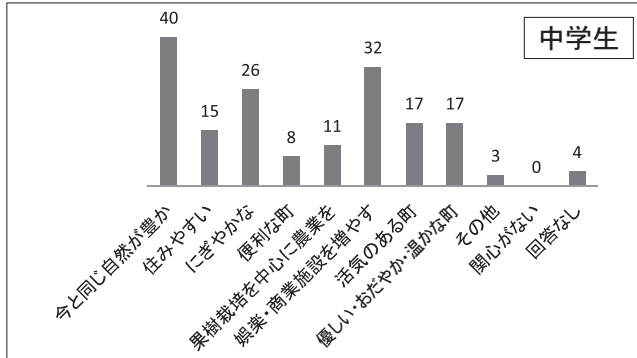
本年度の研究集会は、「公民館で結び、若者と地域をつなげる〜今どき若者は…」をテーマにして、考え合います。

そこで、協議の資料の一つにするために、若者の意識を探ってみました。町内の中学生、高校生、若者（20・30代）の方々に、「松川町の好きなところ」「地域（自治会・公民館等）の活動への参加」「松川町の将来」の3つの項目についてアンケートをお願いしました。研究集会に結果を発表しますが、今回、3つの項目の中から「松川町の将来」について発表します。

中学生（中学3年生）

調査数 男74名

女74名 計147名



中学生（複数回答）

大項目	小項目	男	女	合計	説明
1. 自然・環境	自然が残る・自然が豊か	17	23	40	リニアが通っても都会にならずに自然の景色や田舎っぽさが残る町
2. 暮らし	住みやすい町・暮らしやすい町 落ち着いた町・きれいな町	5	10	15	高齢者・アルツハイマーの人が住みやすい町 犯罪が少ない・老若男女みんなが住みよい町 ゴミなどが落ちていないきれいな町・清潔感がある
	にぎやかな町・人が増える	14	12	26	人がいてにぎやかな明るい町・過疎化にならないように 子どもがたくさん
	便利な町	3	5	8	交通機関が便利・道路整備
3. 産業	果樹栽培を中心に農業を 活発	8	3	11	松川町でたくさん育てているリンゴやナシが もっと有名になってほしい 果物の種類を増やす
	娯楽施設・商業施設を増やす	10	22	32	若い世代を呼び込むために店を建てる・若者が 楽しめるように 多くの店があるデパート を建てる・人が集まるものが欲しい 大きな 店・子どもが遊ぶところ
	観光客がたくさん来る	0	0	0	
	新しい産業、技術等を	0	0	0	
4. 地域コミュニティ	いろいろが発展していて活 気がある	10	7	17	他市町村と関係を深め、共同して活動・仕事 がある
	あいさつができる町	0	0	0	
5. スポーツ	優しい・おだやか・温かな町	9	8	17	笑顔がある町・お年寄りが気持ちよく暮らせる 人の繋がりがしっかりしている
	楽しい行事がある	0	0	0	
6. その他	スポーツの強い町 スポーツをする施設がある	2	0	2	
7. 回答なし	伝統文化を大事に	1	0	1	
	関心がない	0	0	0	
合計	回答なし	2	2	4	
合計	計	81	92	173	

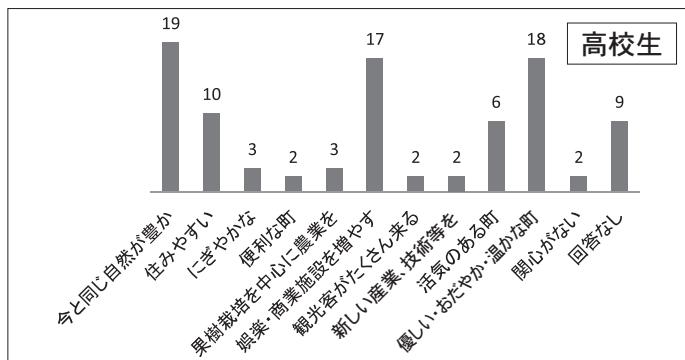
・「今と変わらない自然豊か」が40名で1番多く、次いで、「娯楽、商業施設を多く」「にぎやか」「活気がある」と続く。中学生は、「今と同じように自然が残り、楽しい施設がある、にぎやかな町」をイメージしている。

・5番目は「優しい、穏やか、温かな町」で、地域のコミュニティ、絆を大切に考えようとしている。

・松川町の好きなところ」で

「果物が豊富、おいしい」が43名で2位であったが、そのことと関わる「果樹栽培を中心に農業を」の項目が11名、7番目になっていることが気にかかる。

高校生（松川町在住の松川町）
調査数 男28名
女40名 計68名

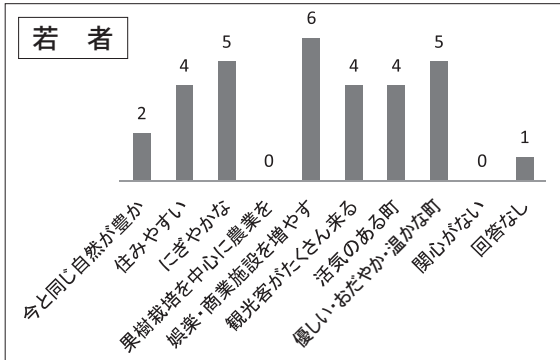


・中学生とほぼ同じ傾向を認め、自然が残り「にぎやかな町」を望んでいる。

・「優しい、穏やか、温かな町」の項目が、第3位に入り、地域コミュニティ・絆を大切に考えとしている割合が高い。

・町の将来に対して「関心がない」2名、「回答なし」9名がやや気になる。

若者が願う「町の



高校生（複数回答）

大項目	小項目	男	女	合計	
1. 自然・環境	自然が残る・自然が豊か	12	7	19	いつまでも自然が残ってほしい
2. 暮らし	住みやすい町・暮らしやすい町 落ち着いた町・きれいな町	2	8	10	安全な地域・街頭が欲しい
	にぎやかな町・人が増える	0	3	3	若い人が減らないように
	便利な町	0	2	2	電車の本数を増やしてほしい・上片桐と元大島の間に一駅欲しい
3. 産業	果樹栽培を中心に農業を 活発	2	1	3	果物などで有名になってほしい
	娯楽施設・商業施設を増やす	10	7	17	商店街を若者向けに・いろいろそろっている娯楽施設・もう少し都会に「スモールタウンでちょうどいい」ではなく・もっと頑張らないとシャッター街にならないように・遊ぶところを多く（テーマパークのようなもの・ゲームセンター・カラオケ・コンビニ）
	観光客がたくさん来る	1	1	2	松川に行きたいと思われる町
	新しい産業、技術等を	2	0	2	現在の長所（農業・観光）だけでなく、リニアなどにより新たな取組みがあればよい
	いろいろが発展していて活気がある	4	2	6	今より活気のある町に
4. 地域コミュニティ	あいさつができる町	0	1	1	あいさつができる町に
5. スポーツ	優しい・おだやか・温かな町	13	4	17	笑顔であふれる町・人の優しさが変わらない
	楽しい行事がある	0	0	0	
	スポーツの強い町 スポーツをする施設がある	0	0	0	
6. その他	伝統文化を大事に	0	0	0	
	関心がない	0	2	2	松川町に住まないから
7. 回答なし	回答なし	5	4	9	
合 計		81	92	173	

若者（松川町在住）
 調査数 男 8名 女 14名 計 22名

△結果からわかること▽
 ・若者は「楽しい・にぎやかな町」をイメージしている。
 ・中高生と違って「自然が残る」の回答が少ない。
 ・人と人とのつながりのある地域コミュニティ（絆）のある町を望む声が多い。

若者（複数回答）

大項目	小項目	男	女	合計	
1. 自然・環境	自然が残る・自然が豊か	1	1	2	緑と水のイメージがなくならないように・古き良きところを残す
2. 暮らし	住みやすい町・暮らしやすい町 落ち着いた町・きれいな町	1	3	4	子育てが安心・子ども、お年寄りが住みよい町
	にぎやかな町・人が増える	2	3	5	若者が増え、子どもが多い町・過疎化対策を1ターン、Uターンの定住化を
	便利な町	0	0	0	
3. 産業	果樹栽培を中心に農業を 活発	0	0	0	
	娯楽施設・商業施設を増やす	1	5	6	フォレストアドベンチャーのような施設を・商業も大事に 国道沿いがさみしい・もっといろいろな店があれば・商店街の活性化
	観光客がたくさん来る	2	2	4	松川に行きたいと思われる町
	新しい産業、技術等を	0	0	0	
	いろいろが発展していて活気がある	2	2	4	若者の活気があり、地域の活動に積極的に参加できる地域
4. 地域コミュニティ	あいさつができる町	0	0	0	
5. スポーツ	優しい・おだやか・温かな町	2	2	4	近所付き合いが当たり前ができる人の温かきがある地域・人と人との繋がりを強くして、地域や消防団活動に参加することが日常になるように・町外から来た人たちに優しい地域・子どもに優しい町
	楽しい行事がある	0	1	1	
6. その他	スポーツの強い町 スポーツをする施設がある	0	0	0	
7. 回答なし	伝統文化を大事に	0	0	0	
	関心がない	0	0	0	
	回答なし	1	0	1	
合 計		12	19	31	

全体を通して感じること

若者、中高生は将来「自然が残る町」を望む一方、「楽しい都会的な生活」にあこがれをもっている。この意識のギャップをどう埋めていくか。また、松川町は「果物がいっぱいおいしい」と誇りをもっている。しかし、果樹栽培の維持・発展への関心・意欲はまだ低い。
 このような若者に、行政、学校、公民館等がどう働きかけていいたらよいかを考えていきたい。

松川町資料館特別企画展

俳人大島蓼太

現在松川町資料館で開催されている特別企画展では郷土出身の俳人大島蓼太について様々な資料を展示しています。

この特別展は、大島蓼太をもっとよく知っていた、だくとも、に、日本三景である宮城県松島の「雄島」に大島蓼太の句碑があり幾度も訪問を重ねていた縁から、東北を忘れず一日も早い復興へのエールを送つていただきたいとの思いから開催されています。



今回特集されている大島蓼太は江戸時代の俳人で享保3年（1718）に生まれたとされています。15歳で初めて句を詠み、23歳で松尾芭蕉の高弟から続く一門である雪門の当主雪中庵2世吏登に師事しました。その後俳諧修行に努め、33歳で師、吏登の後を継ぎ雪中庵3世となりました。生涯の著書は200以上、免許を許した判者40余名、門人は大名なども含み3,000人とも言われる一大勢力を築いたそうです。作風は、大衆的な通俗味が多く平易で分かり易い句で、俳諧を庶民化したとして高く評価されています。

今回の特別展では、個人および松川町資料館所蔵の掛け軸、全国各地の大島蓼太の句碑の拓本を額装し掛け軸としたものや、町内の寺社に奉納された俳句の額などが展示されています。また、町内の個人より町に寄贈された江戸時代の版本113種146冊、蓼太皆伝免許卷子本、雪中庵宗匠認承状などからなる蓼太文庫が展示されています。その一部が複製本を手にとって閲覧することができますようになっています。この蓼太文庫は大島蓼太資料としては国内でも有数の点数を誇り、市町村でこれだけのものを収蔵しているところはまずないそうです。椅子も用意されていてゆっくりとみることが出来ます。



「みなさん、健康のために今日から運動を始めましょう。今日からお酒をやめましょう。」
「...などと言われても、すぐに実行することは難しい、あるいは3日坊主になってしまうのが普通だと思います。しかし、少し変えるだけでも健康への効果があり、健診結果に変化が表れるのです。」

第39回 健康を考える集会

1月18日(日) 役場大会議室

- ごはんの量を3分の1減らしてみたい
- 肉や魚は減らさず野菜を増やしたい
- 休肝日を作ってみたい

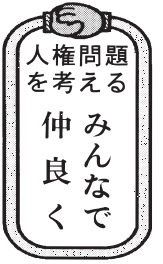


途中にストレッチで体をほぐす場面もあり、健康的な集会となりました。



1日分の摂取量は意外と少ない。

など、誰でもすぐに始められそうなことばかり。これだけでも健診結果の数値にはつきりと変化が表れたそうです。健康のために運動や食事について自主的に学ぶグループが町内にはいくつもあります。健康を考える集会は39回と長い歴史がありますが、去年発足したばかりの健康学習グループもあり、こうしたことが継続、広まっていくなかで町民全体の健康状態の改善につながっています。



松川中学校では「いじめなんか、
いらぬ！東日本大震災から、私
たちは学んだ」という映画を視聴しま
した。その生徒の感想です。

命は尊くたやすく消えてしま
うこともあるから、命を大切に生
きていかないとだなと思つたし、周
りの人の命も自分と同じで一つし
かないのだから周りの人にも優し
くしていかないとだなと思いま
した。だから、いじめは命を消して
しまうこともあるから絶対にやつて
はいけないと思いました。このビデ
オを見て、改めて命には限りがある
ということを感じました。

地震や災害によつて人の命が失
われてしまうのだから、その亡くな
ってしまった人たちの分まで命を大
切に、人間を大切に生きていき
たいと思つた。命がなくなつてしま
つたら、楽しく過ごしておけばよか
つたなんて後悔しても遅いので、今
の生活を悔いのないように楽しく過
ごしていきたいと思ひました。

被災地ではないここではあまり
命の大切さが分からなかつたし、犠
牲者が何万でも他人事で考えたこ
とがなかつたです。しかし、友人や
親を失つた悲しみはとてすさま
じいし、それを思うと心がえぐられ
るような気持ちになりました。いじ
めは、やっぱり軽い気持ちでやつた
ことがエスカレートしていきます。
人を殺しかねない恐ろしいこと
です。自分に置きかえて考えてい
かなければならないと思ひました。

このことはよく分かります。やつ

ばり自分もいじめられていた立場
だったので、いじめがなくなればい
いと思つているし、自分と同じよう
な立場の人もいると思うのでよく
考えて欲しいです。いじめをしてい
る人たちは何を考えているのかな
あと思ひました。

震災を通して、命の大切さに気づ
くことができました。いじめは最悪
の場合、命を落としてしまうかもし
れません。一人ひとりの大切な命な
のだから、もつと尊重しなければい
けないと思ひました。お互いに理解
し合つて生活を送つていければと
思ひました。

命はとても大切だと改めて実感
しました。地震はたくさん人の命
を奪つたけど、地震があつたからこ
そ気づけたことがあるという意見
は確かにその通りだなと思ひまし
た。いじめは、いじめる側は特に何
も考えていないでやるので絶対に
いけないと思ひました。ちゃんと相
手の立場を考慮することが大切にな
つてくると思ひます。

命の大切さが分かりました。一人
ひとりの命の重み、尊さがわかるよ
うになれば、いじめなんてもう起き
ないと思ひます。人は群れないと生
きられない生物だから、その弱さも
受け入れていかないといけないと
思ひました。

東日本大震災では生きたいと思つ
ていても亡くなつてしまつた人が
たくさんいる。それを考えると自分
の気持ちの弱さから自殺してしま
うことがどれだけ悲しい行為か分
かつた。いつもある日常がこの瞬間
が壊れない保障はないので、いつ来
るか分からない死がなんとなくわか
つた。毎日を精一杯生きたい。

生涯教育のメッカ

松川青年の家だより

（その四十）

手作り味噌教室

昨年、青年の家では畑で大
豆を育てました。12月にはそ
れを使つて豆腐作りを楽しみ、
2月1日には残つた豆を使つ
て味噌作りを実施しました。
マルコメ株式会社の方の指導
を受けながら、参加者19名は
自作のおいしい味噌を求めて
挑戦しました。

豆を煮てつぶす

まず、前日から水に浸して
おいた大豆を、大きな鍋で煮
ることから始まりました。5
時間は煮る必要があると予想
していたので、職員が朝5時
半から火をつけて煮始めまし
た。しかし、予想に反して開
会時刻の9時には豆がやわら
かくなつたので、初めの会が
終わると同時に火を止めて、
豆をボールに移し冷えるのを
待ちました。

味噌作りの話をお聞きして
いる間にそれは40度くらいま
で冷めたので、いよいよ豆つ
ぶしが始まりました。片手に



味噌の混ぜ込み

しつかりと握つたすりこぎで
ボールの中の豆を粒が小さく
なるまで砕きました。長時間
煮たことによつて柔らかくなつ
ていた豆でも、なかなかつぶ
れず汗が出るやらママができ
るやらとても大変な作業でし
た。子どもたちも腕まくりを
して頑張つてくれました。

混ぜ込み

頑張つた甲斐あつて豆の粒
が小さくなつたので、続いて
混ぜ込みに移りました。これ
はつぶした大豆に、ほぼ同量
の米麴と約2分の1の食塩を
入れて均等になるように手を
使つて混ぜる作業です。初め
はそれぞれの材料がばらばら
だつたのが、次第にお互いが
馴染んできてなんとなくお味

噌のようになつてきました。
これで、出来上がりかと思つ
たら「昔だつたら、これを桶
に入れて寝かしておけば空気
中に存在している酵母菌が大
きく働いて発酵が進みおいし
い味噌になつたわけです。と
ころが、今では建築様式や生
活スタイルが変わつたために
自然界での酵母菌が少なくな
つたため、それがあまり期待で
きない状況です。そこで、今
日は生きている酵母が含まれ
る生味噌を混ぜてもらいま
す。」という講師の話の聞い
てから、更に市販の生味噌を
混ぜ込みました。ますます色
もにおいも本物の味噌そつく
りになつてきたので少しなめ
てみましたが、ただ豆の味と
しよつばさを感じるだけでと
てもおいしい味噌という
には程遠い味でした。

最後に、材料と努力の
すべてが混ざつた味噌の
元をビニール袋に詰めて、
持参した桶に入れて味噌
作りの講座は終了しまし
た。参加した方々は半年
後にこれがどんなおいし
い手前味噌になつてい
るか、楽しみにしながら帰つ
ていかれました。

寒い時こそ体を動かせ！ 元気よくスポーツ

第1回松川町団体 バドミントン大会

1月18日(日)に町民体育館にて第1回松川町バドミントン大会が行われました。

結果は次のとおりです。

〈松の部〉

優勝 福与B

2位 福与A

3位 上片桐BY

〈川の部〉

優勝 南方BC

2位 ジョイフルA

3位 ジョイフルB



上片桐地区冬季 スポーツ大会(綱引き)

2月1日(日)に北小学校体育館にて、上片桐地区冬季スポーツ大会が開催され、自治会対抗による綱引きが行われました。大会には、男子13チーム、女子8チームが出場しました。

結果は次のとおり。

男子の部

優勝 諏訪形A

準優勝 上町B

第3位 清北

女子の部

優勝 上町A

準優勝 諏訪形E

第3位 大沢南部女子

古町地区公民館ワンバウンド ふらばくるバレー大会

2月1日(日)に福与体育館にて、古町地区公民館ワンバウンドふらばくるバレー大会が開催されました。

結果は次のとおり。

優勝 古町南部

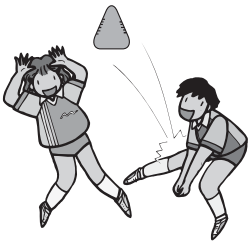
準優勝 古町中部

第3位 古町東部

第4位 古町北部



大人に負けじと子どもも頑張りました。



松川町女性団体連絡会主催 『笑いの体操教室』

「笑」の力で脳と体を活性化！笑えてためになる体操教室です！

日時：3月2日(月) 19:00

場所：中央公民館 大会議室

講師：宮下泰広さん

(日本レクリエーション協会公認インストラクター)

持ち物：タオル・飲み物

※どなたでもご参加いただけます。(事前に申し込みが必要)

※当日は、運動しやすい服装でお越しください。

お申込み・お問合せ先：松川町中央公民館 電話36-2622

高齢者講座 『楽しい芸能』

春の楽しいコンサート

～尺八と鍵盤ハーモニカと世界の民族楽器で～

日時：3月12日(木) 13:30～15:00

会場：町民体育館 トレーニングルーム

出演：遠藤健二氏

地元の竹で制作した尺八、太鼓などの打楽器の演奏を行っています。

また、木をテーマにした自作詩の朗読もされています。生田在住。

夏秋文彦氏

鍵盤ハーモニカやアジアの楽器など、さまざまな楽器を使ってソロ・グループ・人形劇の劇中歌など多方面で活躍中。駒ヶ根市在住。

曲目：荒城の月、浜辺の歌、星めぐりの歌(宮澤賢治)、アメージンググレイス・尺八古典曲など、お二人の独奏、合奏をお楽しみください。

※お申込み不要、入場無料です。

お問合せ先：松川町中央公民館 電話36-2622

毎月第3日曜日は

家族ふれあう

「家庭の日」

地域づくりに参加しませんか？
松川町公民館本館部員募集

松川町中央公民館では、平成27年4月から公民館本館部員として公民館事業に携わっていただける方を募集しています。

本館専門部は社会部、体育部、編集部の3部があり、主に下記のような活動をしています。

○社会部

音楽祭や人形劇場などを開催し、主に文化に関する活動を行っています。

○体育部

駅伝大会などスポーツに関する行事を開催し、主に体育に関する活動を行っています。

○編集部

町内の行事、ひと、場所、話題など町に関するものを取材し、毎月館報を発行しています。

町内にお住まいであれば、どなたでも活動していただけます。詳しくは、下記までお問い合わせください。これからの公民館、地域を一緒に創っていきましょう！お待ちしております。

お問合せ先
松川町中央公民館 ☎36-2622



全国公民館報コンクール
特別賞

ちに地域の良さを知ってもらうことも大切です。それが公民館報の役割の一つと、思い、日々取り組んでいます。60年近く続く館報をこれからも続けることは、「地域づくり」のきっかけとしての役割など、大きな意義があると思います。時代と共に館報の内容は変化していますが、変化を恐れず、魅力ある館報が続けられればと思います。



第5回全国公民館報コンクールで館報「まつかわ」が特別賞を受賞することができました。松川町には歴史あり、名物あり、他に見られない自然ありと、魅力はたくさんあります。

しかしながら、昔からこの地に住む人たちにとっては当たり前のものであり、意外にも魅力が魅力として認識されていないことが多くあります。町外の人たちに自分たちの地域の良さを伝えることはもちろん大切ですが、地域の人の

こどもの詩

北小1年 ゆざわあやか
くつあらいをしました。
くつあらいは、
おうちの中のなかで、
おかあさんとやりました。
学校のうわばきをあらいました。
はじめにせつけん
くつをよついで
ながしてあらいました。
そのあと、よこれているよんを
ピカピカにしました。
わたしのくつは、
よこれがたぐさんありました。
なせかというつまえまで
学校のいきかえりに、
はいていたくつだからです。
みがいて、ピカピカになつて
きもちよかつたです。

いもつと

北小1年 かたぎりあみ
わたしには、
一さいのいもつとがいます。
みおちゃんという子です。
みおちゃんのそばにいると、
こころがほつとします。
みおちゃん、
こはんのじかじやなくて、
「まんま。」
といいます。
みおちゃんは、
あまりしゃべれないけれど、
一かいだけ、
「あみちゃん。」
といってくれました。
わたしの一ぱんの
たからものです。

俳句

風花

矢沢さち子(東浦)

廃校の間近き児等に風花す

四方拝母ふるさとへ手を合す

初句会をいに唄う里の歌

初旅へ大きく地球儀回しけり

卒寿余の母へ祝いの冬薔薇

短歌

桃澤 幹子(諏訪形)

旅に発つ孫娘にテレカ断られ
写メールの届く笑顔とクマモン

「おじいちゃんも乗せたかつた」と男の孫の

ベゼルで出掛ける家族の団らん

無農薬にて作りし南瓜八キ口を
赤子のごとく心して抱く

巖島神社巡り来て

丑三ツ時の震度五の体感

文化展の三日後見頃迎えたり
化粧鉢に仕上げし小菊の盆栽



◆ **輝け公民館!**
 蓮田市中央公民館
 リニューアルオープン記念イベント

松川町から37点の作品を出展しました。
 物販もりんごが早い時間に完売してしまう
 など、好評でした。



1月24・25日、友好交流都市である埼玉県蓮田市の中央公民館リニューアルオープンを記念したイベント「輝け公民館！」が開催されました。公民館で活動する団体の芸能上演や作品の展示、公民館子ども講座、模擬店など多彩な内容で盛り上がりを見せました。公民館登録利用団体連絡協議会が主催で、企画運営のすべてが利用者により行われ、自主性を重んじたイベントに仕上がっていました。

松川町からも文化協会登録団体の作品展示や特産物の物販でイベントに参加してきました。

◎◎◎
 2022年
 2月号

職場の先輩と急ぎよ「富士山にのぼる」ってことになり昨年7月に登ってきました。富士北麓まで車で行きそこから5合目までバスで行きました。やっぱり世界遺産になったこともあり、人の多さにびっくりしました。5合目まで観光だけに来てる人もたくさんいるみたい。

まずは標高になれるため5合目に1時間くらいはいたくなり。そこから登りはじめ、なるべくゆっくり歩くことを意識しながら。体力があるからと言って早く歩くことは体力の消耗に繋がってしまうみたいです!!

最初は砂利の急な上り坂で足が滑るので「結構しんどい」ってなりました。7合目付近からは崖のような岩のところを登りました。本当に一般的なルートなのかなと思ったりもしました。(笑)

天気も良く景色がとてもよかったです!しかし天気がいいため頂上らしきところが見えていたので、全然進んでくる気がしませんでした。8合目までくると空気が薄くなってきたのを感じました。自分たちが泊まる宿まで6時間かかりました。

次の日も天気良く、初のご来光をみることができました!とても美しい光景でした。宿から頂上まで2時間弱だったと思います。剣ヶ峰の方まで歩きました。頂上で食べたカップラーメンは最高でした!頂上で2時間弱居て下山しました。下山のコースが砂地で埃っぽく、マスクが必須でした。

下山の方がとても大変でした。また登る機会がありそうなのでしっかり体力をつけ、またあの景色をみたいです。その時、また晴れることを祈ります。
 米山拓也

公民館報
「まつかわ」
 第 616 号
 平成27年 2月15日
 発行所 松川町公民館
 責任者 矢澤 登
 編集人 公民館編集部
 Tel 36-2622
 e-mail: c.kouminkan@matsukawa-town.jp
 飯田市上郷黒田121
 印刷所 龍共印刷(株)
 再生紙を使用しています。